

とっとり 県議会だより

令和4年2月定例会
(2022)

No.040
Feb.
2月
議会

主な記事 Contents

代表質問 2~3p
 一般質問 4~7p
 常任委員会活動 8p
 議決結果 9~11p
 議会中継について 12p
 お知らせ 12p



浦富高架橋お絵描きイベント
(岩美北小学校のみなさん)

2月定例会の概要 (2月22日～3月24日)

開会日の2月22日に、平井知事から総額3,640億5百万円余の令和4年度鳥取県一般会計予算、総額94億3千7百万円余の令和3年度鳥取県一般会計補正予算など86議案が提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党と会派民主が行い、一般質問には24名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

議決の状況

【知事提出議案】

- ◎予算議案 <<可決32件>>
- ◎条例議案 <<可決16件>>
- ◎人事議案 <<同意11件>>
- ◎その他議案 <<可決24件>>

【議員提出議案】

- ◎条例 <<可決1件>>
- ◎意見書 <<可決1件>>
- ◎決議 <<可決1件>>

【陳情】 <<採択1件、不採択8件>>

表紙の写真

山陰近畿自動車道 岩美道路

現在、浦富ICから東浜IC間を工事中。
令和4年度内の開通を目指しています。
鳥取県東部と兵庫県北部を結ぶ人流・物流の大動脈の県内区間全線開通に向けて大きく前進します。

★議員別の賛否の状況は、10、11ページでご覧いただけます。

代表質問

鳥取県議会自由民主党



藤縄 喜和 議員
選挙区 鳥取市



四期目の総仕上げに向けて

問 平井県政四期目の最終年度に向け、当初予算の編成方針を伺う。

答 就任以来最大規模の予算。まずは新型コロナウイルスから命や健康を守り抜き、ポストコロナに向けて産業や雇用を力強い成長軌道に乗せる。脱炭素化やデジタル化を念頭に人の絆を生かした安全安心を形成し、コロナ禍から回復したふるさと鳥取県をつくり直したい。

新型コロナウイルス感染症の克服

問 オミクロン株の第六波対応の総括と今後の方針について伺う。

答 飲食店街で感染拡大したデルタ株と異なり、第六波は子どもを中心に広がった。特命チームで感染拡大に網をかけ、子どもや重症

化しやすい高齢者を守ることを重点に置いた。今後小児科の協力を得て圏域ごとに小児ワクチン接種を進めていく。

人口減少時代の集落の存続

問 高齢化が進む中山間地域の集落で、生活機能を維持し、地域社会を存続するための対策は。現行の支援制度は実態に即しているか。

答 県内の山間集落調査では86%の方が住み続けたいと回答。買い物や医療、交通などニーズに沿った対策には地域で支え合う共助組織づくりが重要。中山間地での暮らしが持続可能になる工夫やサポート強化を図る。支援事業の執行に当たっては、県庁組織の改善など、在り方を含め再検討したい。

観光誘客の推進

問 ポストコロナを見据えた観光誘客と地域経済復興の展望は。

答 まん延防止等重点措置では#WeLoveキャンペーンなど観光事業支援が停止となり、事業者の息の根を止めるとの懸念がある。#WeLoveキャンペーン

を延長して県内地元観光を促すほか、アウトドア志向の旅を育てていきたい。

国際交流の再開

問 コロナ禍は逆にオンライン交流など一層の相互理解を深める契機になった。台湾はじめ親交ある地域との交流再開について伺う。

答 オンラインでも心を温め合うことができ、日台の友好親善協会をベースに鳥取・台湾ファンクラブが結成されるなど新展開を迎えた。台中や台南との人的交流や観光物産PRなど様々な形で交流を深めたい。一方、ロシアのウクライナ侵攻を踏まえロシアとの交流予算は凍結する。

スポーツ振興

問 東京オリパラで結実した競技力向上や指導体制を次のパリ五輪やその先に繋げるための課題は。

答 選手強化支援や組織的なバックアップが功を奏した。コーチの活動継続を保障するなど今後へ結び付けていきたい。

島根原発の再稼働判断

問 安全協定締結から十年に及ぶ交渉で原子炉停止要求もできる権限が得られた。協定改定と再稼働に向けた今後のスケジュールは。

答 安全協定は米子・境港両市の了解が整い、中国電力から島根県と同じ扱いとの確認を取って改定したい。再稼働については安全対策協議会など住民意見や両市の最終判断、原子力安全顧問の専門的見地を踏まえ判断することになる。

自立に向けた子どもの育成

問 不登校児童生徒数が高止まりする中、子どもたちの社会的自立支援に向けて教育現場だけでなく広い視点での取組が重要。

答 (教育長) コロナ禍を含め人との繋がりが希薄な現代社会だからこそ、子どもたちが地域の大人など多くの人と関わって自分の生き方を考える機会をつくり、育ちを支えていきたい。

交通事故防止対策

問 飲酒運転の根絶に向けてどのように取り組んでいくのか。

答 (警察本部長) 飲酒運転の死亡事故率が飲酒なしの約8倍との統計もある。飲酒運転は極めて危険で悪質な犯罪行為。事故実態の広報や取締り、職域の交通安全教育などで規範意識確立を図りたい。

代表質問

会派民主



尾崎かおる 議員
選挙区 鳥取市



知事の理想の日本、鳥取県

問 世界の中で日本の理想の姿、日本の中の理想の鳥取の姿とは。

答 世界と連帯して民主主義を守る。鳥取県は絆を結び合う力が大きい。真の豊かさは大国ということではなく小さな鳥取県にこそある。

問 経済学者の佐伯啓思氏は新自由主義について「グローバルな市場競争、果てしない競争にのめり込み、効率、自己責任、能力主義が支配する世界に困り込まれている。気に食わない者を誹謗し実在不寛容な社会。社会は人間交際の場、顔の見える繋がりで、そこに倫理や道徳が成立する。」と論評している。知事の所感を。

答 的を射ており、岸田総理の

しい資本主義に通じる。近年、株主至上主義で、新自由主義的な傾向が広がりすぎている。従業員、困っている人、地域等にも責任を持つのが資本主義の新しい姿。

コロナ禍の病院格差是正

問 病院も多大な努力をしている。しかし、亡くなった患者の家族が悔しく悲しい思いをした。真摯に親身に対応してくれた転院先とは異なり、最初の病院は対応の差があり無念だったと思う。格差が無いよう要望する。

答 亡くなられた方のご冥福をお祈りする。色々な病院がありレベルの差がある。症例の見方、治療法などの研修、鳥大病院とネットで対処法を話すなど体制を取る。

財政について

問 R3年度県予算はピーク時より一十億円減っている。どんな視点で県財政と向き合ってきたか。

答 借金を減らしたことが大きい。商工関係融資を利子補給式にし県庁舎改築をやめた。財政健全化と積極的な県政運営で二兎を追う。

幼児の安全確保について

問 私立幼稚園での熱傷事故の第三者委員会報告書の所見を問う。

答 熱傷マニュアルがなく誤った初期対応、園児の行動に対する誤った認識、職員が付き添わず受診させ、保護者対応にも誠意がみられない等が課題。県の対応も、園への報告に1カ月も要した上、当該園には改善の骨組みとして欲しい。県も役割の見える化、明確化、職員の意識改革を進める。

問 報告書に減多にない意見書があった。熱傷事故の7カ月後にも骨折事故で同じ対応がなされた。良くなるように指導して頂きたい。

答 2月に行政検査、調査に入った。子どもの安全、健康を最優先に意識改革、組織のあり方を考えるよう指導中。その他の施設にも普及させるため安全管理研修、安全管理マニュアルの作成をする。

鳥取砂丘子どもの国

問 50周年を機にオーバーホールのつもりで改修を。

答 トイレ洋式化、インクルーシブ遊具(※)等も検討する。趣きが変わり興味を持てるものを考える。

東部の美術振興について

問 鳥取市が美術館建設を行う際は県が支援するという議会の附帯意見を踏まえ、東部の美術振興、県立博物館の役割について聞く。

答 新しい美術館は足し算。博物館の美術機能提供を約束する。市が美術館整備の際には支援する。

ジェンダーを軸に

問 育児休業法改正で雇用期間1年未満労働者の育休取得、産後パパ育休が取得可能に。対応は。

答 勤務1年以上の要件を撤廃する条例改正をする。民間企業へもPRする。

問 男性の性暴力被害者対応は。

答 (警察本部長) 男性捜査員、病院・捜査の付添い、医療費等の公費負担等被害男性に配慮する。24時間相談専用電話#8・1・0・3(ハートさん)を設置している。

問 農業の場合、家族協定があり、労働・対価・役割などを見える化し、皆が経営に関わる意識を持つ。商工業でも家族の意識改革をし、自営業の女性がより良い環境で働くため同様の取組をしてはどうか。

答 商工と農業は法規制が違い、それぞれ工夫してもらおうのが良い。モデルケースの横展開を図る。

代表質問

一般質問

常任委員会活動

議決結果

※インクルーシブ遊具…障がいの有無を問わず誰もが遊べる遊具



一般質問

2月定例会では、24人の議員が一般質問を行いました。
本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

代表質問

一般質問

常任委員会活動

議決結果



鳥谷 龍司
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

デジタル化による共生社会の実現について

問 持続可能な地域社会の中で、誰一人取り残されず、全ての人々がデジタル化の恩恵を享受でき、心豊かな暮らしを実現する共生社会への本県の取組は。

答 あいサポート運動を展開する本県らしく、デジタル田園都市国家構想の中で大手企業とタイアップして、開発中のAIを活用した簡単に手話通訳ができるようなシステムの実証実験など、それぞれの障がいに応じた情報アクセシビリティ（※）のモデル事業を展開しながら地域共生社会の実現の一助としたい。



松田 正
議員



選挙区 米子市
会派 自由民主党

サイクルツーリズム推進に向けた組織改正

問 専門部署の新設を高く評価したい。この新しい組織の人員の規模感、期待する効果を伺う。

答 サイクルツーリズム振興室を県庁の中に設置。正職員として6名、さらに各部局と連携するため、兼務で6名を配置したい。鳥取県庁としてはそこそこの規模感を持たせていただいた。併せてサイクルツーリズム振興監を設置し、観光交流と一体となりながら、令和3年度内にナショナルサイクルルート指定に向けた準備にめどをつけてまいりたい。



福田 俊史
議員



選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

サウナツーリズム推進事業について

問 新年度当初予算にとっとりサウナツーリズム推進事業が提案されたが、コロナで傷んだ県内温泉地や観光業界の再生に向けて、サウナをどう位置づけ、活用していかれるのか、知事の意気込みを伺う。

答 1月から関係者による意見交換の場を設けているが、サウナは鳥取らしい旅につながるという提案がある。サウナの設備整備の助成制度も予算に盛り込んだ。新年度、鳥取砂丘でサウナPRイベントを行うなど、サウナ旅を盛り上げていきたい。



銀杏 泰利
議員



選挙区 鳥取市
会派 公明党

飲食支援、原発問題 空港コンセッション

問 ①飲食のクーポン、今後発行を②島根原発安全協定の立入調査権と措置要求権の行使判断は③鳥取空港のコンセッションは、空の駅への情熱、地域貢献、地域振興の意思・意欲があるのかを判断材料にすべき。

答 ①感染の状況を見て、速やかにスタートしたい。#WeLoveのクーポン券の4月以降の延長も検討する②ルールを米子・境港と詰め、共同で運用していく③地域、空港の賑わいづくり、地元企業の参画、地域貢献という要素を加えて公募する。



坂野経三郎
議員



選挙区 鳥取市
会派 会派民主

遭難事故から命を守る 農家所得の減少を防ぐ

問 ①約三割である登山届の提出率を向上させるべき。また、登山での遭難防止のため、スマホを活用したウェブやアプリによる登山届提出を増やすべき②米価下落対策のため米の消費拡大を。水田活用の直接支払交付金の新制度に対し、「農業やめる」という悲鳴を聞いた。国には、鳥取県の農家の声が届いていない。

答 ①（警察本部長）登山アプリ活用を検討しつつ、遭難防止対策を推進する②星空舞等メディア戦略を考える。JAグループ等、農業者の御意見を国に届ける。



語堂 正範
議員



選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

①国民保護②不妊治療 ③高校魅力化

問 ①国民保護に際し、計画どおり機能するための訓練は行うのか②希望をかなえる不妊治療を進めるため、国のさらなる見直しが必要。知事会から改善を求めている③高校魅力化事業を進めるには、学校と市町村・地域・関連団体の連携が重要。体制が整えば連携し推進するのか。

答 ①図上・実動訓練を市町村・住民の協力のもと行いたい②知事会から要望する③（教育長）地域との結びつきは非常に大きな意味合いを持つ。キャッチボールを行いどんどん進めたい。

※情報アクセシビリティ…パソコンやスマートフォンなどによる情報の受け取りやすさ



障がい者の就労支援、 工賃向上等推進強化を

問 障がい者の就業機会の確保と工賃向上等を更に推進するためには、県内だけの取組では限界があると考えます。他県とのネットワークを構築し、情報交換、人材育成に取り組む必要があると考えますが、知事に問う。

答 鳥取県障害者就労事業振興センターの働きかけにより、県境を越えてノウハウを共有したり、人材育成などをやっていこうという趣旨のネットワークがこのたび作られた。単県では難しい事案もあるので、地域間連携も重視し、取り組みたいです。



除雪にロータリー車を 里親の委託率の向上を

問 ①除雪で積み上がった雪をロータリー車で取りのぞくよう県で用意できないか②家庭的な雰囲気の中で愛情深く育てる里親の委託率を上げるべきでは。

答 ①県の除雪機械は国交付金を活用しており制度上貸し出し出来ない。町などが導入されるのであれば応援させていただく②養護施設からの移行は世界の趨勢で、県でも令和6年までに里親委託40%を目標に増やす方向だが、丁寧に無理なく環境を整えながら移行させていくことが大切。



鳥取城跡について

問 ①県主導で歴史資産を活用した観光戦略を打ち出すべき②博物館側ルート石垣等の早急な修繕を③VR・AR(※)・QRコード等ICTの活用を④鳥取森林管理署跡地を鳥取城跡の駐車場に。

答 ①お城を素材に観光誘客に繋げ、他県や県内との連携も積極的に展開していきたい②新年度応急対策をしようとして今動いている③国庫補助に県も上乗せ補助し、史跡保存活用整備事業としてできるようになった。鳥取市に仕組みを紹介したい④賛成だ。鳥取市、林野庁と協議したい。



新型コロナウイルス 感染症対策の出口

問 5類への見直しも含めて、感染対策の出口の議論の時期だと考えている。国内外でコロナによる規制の撤廃など対策を緩める動きが出始めていることをどう受け止めているのか？

答 多くの国民は5類になってもかえって不安になり、まちに出なくなるかもしれないので、その議論は冷静に感染症の現実に即してやればいい。むしろ経済社会を動かすための出口戦略、ウィズコロナ戦略をシステムチックに考えることが大事になってくると思う。



コロナ、水田交付金、 島根原発、30人学級

問 ①コロナ無料検査継続。施設病院職員に無料検査を②次のコロナ業者支援③後期高齢者医療保険料上げるな④水田交付金減額中止と米価補填⑤島根原発再稼働NOを⑥ロシアが核使用発言。国に核兵器禁止条約参加求める⑦30人学級学年選択可能に。

答 ①継続。職員は全額補助②柔軟に対応③年8,449円上がる④必要に応じ要望。補填考えてない⑤精細検討加え判断⑥ヒバクシャ国際署名を行った。こうした声がプーチン大統領動かす事願う⑦(教育長)弾力的運用可能。



島根原発2号機の新規 制基準適合と安全対策

問 ①耐震設計基準となる地震動820ガルは妥当か②新基準への適合以外に、県民を守るために必要な対策を抽出、要望し、原発を動かす覚悟と責任を、国と中国電力に確認してほしい。

答 ①2号機立地岩盤の地下構造も調査して設定され、県の原子力安全顧問に、地震規模や耐震設計の安全性を確認いただいた。今後の新知見は反映してもらおう②全く同意だ。機械的承認ではなく、様々な知見を結合し判断する。どんな災害、テロにも、守り切れることを求める。

※VR・AR…VR (Virtual Reality) は仮想空間を体験できるデジタル技術、AR (Augmented Reality) は現実世界にデジタル情報を付加し表示させる技術



一般質問

会派正式名称
【自由民主党】
【会派民主
【公明党】

鳥取県議会自由民主党
会派民主
公明党鳥取県議会議員団



野坂 道明
議員



選挙区 米子市
会派 自由民主党

デジタル時代の自律的 行財政改革について

問 ①県営発電施設の民間譲渡に向けて専門家の知見を入れながら可能性について詳細に分析すべき②県と外郭団体や出資法人との関係を抜本的に見直すべき③情報センターの株式も含め政策上保有の必要性が低い有価証券は積極的に売却すべき。

答 ①民営化や事業譲渡等も含めて検討を進めていく②出資や株の保有について点検をさせていただく③様々な出資関係について歴史的経緯はあるが見直しを図っていきたい。



山川 智帆
議員



選挙区 米子市
会派 無所属

J R米子支社の存続担保・原発の安全担保

問 ①J R米子支社の機能が存続するよう76億円の事業を実施。支社存続の覚書が必要ではないか②ロシアによる原発攻撃を受け、国際ルール順守と武力攻撃を想定した避難計画の策定を全国知事会で訴えてはどうか。また、UPZ30キロエリア内の休業補償等を国に対して求めた上で避難訓練を実施しては。

答 ①支社存続が事業目的ではないが、やり取りを確認しながら記録を残す②全国知事会でも議論する。一定の想定のもとで効率的な訓練実施が必要となる。



澤 紀男
議員



選挙区 米子市
会派 公明党

県立夜間中学の開校 について

問 義務教育の未修了者や形式卒業者、外国籍の人が学べる県立夜間中学は令和6年の開校を目指している。これからの時代、外国籍の人の受け入れにどのような意義があると考えられるのか。

答 日本の基礎的な教育も当事者の外国人の方々も望んでいる。日本はまだここが弱いと思う。ボーダレスの時代が進んでいく国際社会の中でしっかりとした経済成長、社会の発展を得ることはできない。教育を受けるトータルな場として夜間中学には大きな効果があると思う。



内田 隆嗣
議員



選挙区 米子市
会派 自由民主党

通学路における 安全対策について

問 平成24年に通学路における緊急合同点検等実施要綱が制定され、鳥取県は、国、県、市町村合同で通学路における安全対策を実施している。令和3年度の要対策箇所460か所の対応状況、対策整備の進捗を伺う。

答 県管理の109か所のうち107か所は対応済み。市町村によっては進み具合に課題があるとも率直に感じるところで、改めてその市町村や国に対策の重要性について働きかけたい。



浜田 一哉
議員



選挙区 境港市
会派 自由民主党

水産業の振興 教育行政の諸課題

問 ①EEZ周辺環境が厳しく、生産者は安心して操業が出来ない。国際間での協議を進めるよう国に働きかけるべき②フロン製造中止に伴う冷凍設備について、県の対応は？③小中学校におけるタブレットの利用に関して、最大限有効活用出来るよう県内統一のルールを作るべき。

答 ①新年度の国への要望の際、漁業秩序の確立を提供していく②共同利用を含めたプロジェクトを関係者間で議論する③（教育長）持ち帰りの可否や出席の扱いを市町村と検討していく。



中島 規夫
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

消防団の体制強化 青谷上寺地遺跡の活用

問 ①災害の激甚化に伴い、消防団に求められる役割が多様化する中で、団員減少や平均年齢上昇などの課題への対応は②青谷上寺地遺跡は令和5年のプレオープンに向け整備が進む。周辺地域の活性化への取組は。

答 ①市町村に消防団の崇高な役割をご理解いただき、処遇改善を働きかけたい②弥生の王国青谷フェスタなど地元気運の盛り上げや観光事業者等による歴史ツアー造成など、日本人のルーツかもしれない本県を満喫してもらえるよう模索したい。

一般質問

【答弁者説明】
答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。



浜崎 晋一
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

新年度予算編成と特別支援教育のあり方

問 ①今回の予算編成に当たり、どこに力点を置いたか②地域の小学校に入学を希望する医療的ケア児も増えていくが医療と福祉と教育が連動して包み込むような本県らしい対応を。

答 ①新型コロナを抑え命と健康を守り抜き、産業や雇用、ふるさとを再構築して安心安全な本県にふさわしい穏やかな地域社会を考えていく②（教育長）障がいのある子も含めて共に学び共に遊び、共に受け入れる社会への大きな一歩となるよう環境を整えしっかり支援していく。



西村 弥子
議員



選挙区 米子市
会派 会派民主

視覚障がい者の同行援護従業者の拡充

問 ①同行援護における県の役割は②従業者不足のため研修の拡充工夫が必要。夏休み等に医療福祉系の学生等に受講を呼びかけ協力連携を求めているか？学校側は快諾した。県が受講料負担を③同行援護と介護報酬の差25%を県と市町村で助成しては。

答 ①研修をテコ入れし人材育成する②充実した研修ができるよう全県の体制を再調整する。社会貢献のやり方を現場と検討。（教育長）呼びかけたい③実情に合った制度設計を国に要請する。ボランティアも組み合わせる。



由田 隆
議員



選挙区 倉吉市
会派 無所属

県内の地域消防力強化に向けて（常備防災）

問 総務省消防庁の消防力整備指針に対する本県の消防職員の充足率は、低いまま推移している。今後激甚化する災害に迅速に対応するため、消防職員の増員等の消防体制の強化が課題と認識する。

答 一定程度の消防力は確保されていると思うが、災害の形態、コロナ救急搬送等ニーズも変わり、消防職員の採用や研修等のレベルアップについて、今後も東・中・西の3消防局と協調して消防力の強化に県も協力させていただきたい。



福岡 裕隆
議員



選挙区 西伯郡
会派 会派民主

古代淀江遺跡回廊構想 公共交通と地域の存続

問 ①全国の賛同者が提案する「淀江回廊」構想と青谷上寺地遺跡をドッキングさせ、鳥取県の財産として発信されたい②持続可能な鉄道、公共交通を模索すべき。道路偏重の公共投資の是正を国へ提起すべき。

答 ①「淀江回廊」構想に敬意を表す。「とっとり弥生の王国」の大きなスポットとして構想を応援する②JRの地方路線経営は制度的支援が必要と国交大臣に要望。今後もそうした観点で政府に要求していく。



森 雅幹
議員



選挙区 米子市
会派 会派民主

学校魅力化について

問 学校の魅力化のポイントは、高校生が「学校が楽しい」と感じることはないか。学ぶということは、本来楽しいものだ。その視点を魅力化に入れるべき。また、魅力化の議論に高校生を参画させることも重要ではないか？

答（教育長）学校の魅力化の視点に生徒たちの声や思いを入れ込んでいくことも大事な視点。生徒たちが主語になる、3年間この学校に通って楽しかったと後輩たちに伝えていける、周囲に発信できる、そんな学校づくりに向けて取り組む。



福浜 隆宏
議員



選挙区 鳥取市
会派 無所属

新型コロナ“致死率” いじめ“加害者対応”

問 第5波までと第6波で致死率は40分の1に低下。オミクロンは感染力が強いので、当然感染者は増える。重症化リスクの高い高齢者等の接種が進んだ今、警報基準を見直すべきでは。

答 オミクロン株が一通り収束した段階で、ウイルスに応じた警報基準の設定があるのかも知れないのでよく考えていきたい。

問 いじめの加害者がカウンセリングを受けた例はわずか1.6%。もっと丁寧に加害者対応すべき。

答（教育長）同感。対応マニュアルに十分記載ない。取り組む。

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案）

本委員会所管の令和4年度鳥取県一般会計予算など23議案について、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎ 2月定例会審査結果（陳情）

新たに提出された陳情3件を審査し、このうち鳥取県におけるパートナーシップ制度の制定を求める陳情は、同性パートナーシップ制度という形によらず、実質的に同性パートナーも等しく県の行政サービスを受けられるよう取組を行っていること、住民にとって最も身近な自治体である市町村の今後の判断を見守ることが相当と考えることから、委員による採決の結果、「不採択」と決定した。

福祉生活病院常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案）

本委員会所管の令和4年度鳥取県一般会計予算など26議案について慎重に審査を行い、全て原案どおり可決すべきものと決定した。

◎ 2月定例会審査結果（陳情）

今回新たに提出された陳情2件を慎重に審議し、いずれも「不採択」と決定した。このうち、鳥取県高校生等通学費助成制度の拡充等を求める陳情に関しては、現在、この制度により通学費の自己負担額が他都道府県に比較して低く抑えられていること、基準を超えて助成する市町村にはさらに補助を拡充していることなどから、制度拡充の検討を議会から執行部に求めることは不要と捉え、「不採択」と決定した。

農林水産商工常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案）

令和4年度鳥取県一般会計予算など17議案の審査を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。なお、ロシアのウクライナ侵攻を踏まえ、ロシアビジネス拠点化構築事業の予算執行を一時保留するなど適切な方策を講じるよう附帯意見を付した。

◎ 2月定例会審査結果（陳情）

陳情2件のうち、最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める件について、令和3年度の鳥取県最低賃金は、29円引き上げた821円に改正され、同年10月から雇用形態に関わらず、県内の事業所で働く全ての労働者に対して適用されていること、また、国の中小企業支援策については、業務改善助成金の内容を拡充していることから「不採択」と決定した。

地域づくり県土警察常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案）

令和4年度鳥取県一般会計予算など16件の議案審査を行い、全て原案どおり可決すべきものと決定した。なお、ロシアのウクライナ侵攻を踏まえ、ロシアとの文化交流事業は予算執行の一時保留など適切な方策を講じるよう附帯意見を付した。また、新型コロナウイルス対策のため、先議議案に関して都道府県議会では初のオンラインでの採決を実施した。

◎ 2月定例会審査結果（陳情）

陳情2件のうち島根原子力発電所2号機の早期再稼働の了解を求める件については、世界で最も厳しい規制基準に適合したこと、「安全協定」に原子炉運転停止を含む権利が認められたこと、電力安定供給が日常生活や経済活動に不可欠であることなどから「採択」と決定した。

令和4年2月定例会付議案等議決結果 (全会一致で議決された議案)

議案等番号	件名	議決結果
附帯意見	(議案第1号関係) ロシア極東地域交流推進事業及びロシアビジネス拠点化構築事業について	決定
②	令和4年度鳥取県用品調達等集中管理事業特別会計予算	可決
③	令和4年度鳥取県公債管理特別会計予算	可決
④	令和4年度鳥取県給与集中管理特別会計予算	可決
⑥	令和4年度鳥取県母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	可決
⑦	令和4年度鳥取県中小企業近代化資金助成事業特別会計予算	可決
⑧	令和4年度鳥取県就農支援資金貸付事業特別会計予算	可決
⑨	令和4年度鳥取県林業・木材産業改善資金助成事業特別会計予算	可決
⑩	令和4年度鳥取県営林事業特別会計予算	可決
⑪	令和4年度鳥取県営境港水産施設事業特別会計予算	可決
⑫	令和4年度鳥取県沿岸漁業改善資金助成事業特別会計予算	可決
⑬	令和4年度鳥取県港湾整備事業特別会計予算	可決
⑭	令和4年度鳥取県収入証紙特別会計予算	可決
⑮	令和4年度鳥取県県立学校農業実習特別会計予算	可決
⑯	令和4年度鳥取県育英奨学事業特別会計予算	可決
⑰	令和4年度鳥取県天神川流域下水道事業会計予算	可決
⑱	令和4年度鳥取県営電気事業会計予算	可決
⑲	令和4年度鳥取県営工業用水道事業会計予算	可決
⑳	令和4年度鳥取県営埋立事業会計予算	可決
㉑	令和4年度鳥取県営病院事業会計予算	可決
㉒	令和3年度鳥取県一般会計補正予算(第10号)	可決
㉓	令和3年度鳥取県公債管理特別会計補正予算(第1号)	可決
㉔	令和3年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計補正予算(第2号)	可決
㉕	令和3年度鳥取県中小企業近代化資金助成事業特別会計補正予算(第1号)	可決
㉖	令和3年度鳥取県県営林事業特別会計補正予算(第2号)	可決
㉗	令和3年度鳥取県営境港水産施設事業特別会計補正予算(第1号)	可決
㉘	令和3年度鳥取県港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)	可決
㉙	令和3年度鳥取県収入証紙特別会計補正予算(第1号)	可決
㉚	令和3年度鳥取県育英奨学事業特別会計補正予算(第1号)	可決
㉛	令和3年度鳥取県天神川流域下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
㉜	令和3年度鳥取県営病院事業会計補正予算(第4号)	可決
㉝	鳥取県基金条例の一部を改正する条例	可決
㉞	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決

議案等番号	件名	議決結果
㉟	鳥取県公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊱	鳥取県附属機関条例の一部を改正する条例	可決
㊲	鳥取県民生委員定数条例の一部を改正する条例	可決
㊳	鳥取県石綿健康被害防止条例の一部を改正する条例	可決
㊴	鳥取県営境港水産物地方卸売市場の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊵	警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊶	鳥取県暴力団排除条例の一部を改正する条例	可決
㊷	工事請負契約(国道178号(岩美道路)橋梁上部工事(浦富高架橋)(4工区)(補助))の締結についての議決の一部変更について	可決
㊸	財産を減額して貸し付けること(鳥取市人権交流プラザ及び鳥取市中央人権福祉センター用地)について	可決
㊹	財産を減額して貸し付けること(鳥取バスターミナル用地)について	可決
㊺	財産を減額して貸し付けること(鳥取県建設技術センターの建物及び用地)について	可決
㊻	財産を無償で貸し付けること(グラウンド等用地)について	可決
㊼	財産を無償で貸し付けること(倉吉市道用地)について	可決
㊽	財産を無償で貸し付けること((元)鳥取緑風高等学校敷地)について	可決
㊾	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
㊿	鳥取県建設工事等入札制度基本方針の一部変更について	可決
㊿	権利の放棄(過年度分報酬過払返納金)について	可決
㊿	権利の放棄(鳥取県母子福祉資金貸付金償還金及び違約金)について	可決
㊿	権利の放棄(鳥取県農業改良資金貸付金償還金及び違約金)について	可決
㊿	権利の放棄(病院事業診療費)について	可決
㊿	県営土地改良事業等の施行に伴う市町村負担金についての議決の一部変更について	可決
㊿	鳥取県税条例等の一部を改正する条例	可決
㊿	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊿	鳥取県職員定数条例の一部を改正する条例	可決
㊿	鳥取県福祉のまちづくり条例の一部を改正する条例	可決
㊿	病院局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊿	包括外部監査契約の締結について	可決
㊿	鳥取県人事委員会委員の選任について	同意
㊿	鳥取県採用委員会委員の任命について	同意
㊿	鳥取県男女共同参画推進員の任命について	同意
㊿	鳥取県廃棄物審議会委員の任命について	同意
㊿	鳥取県議会委員会条例の一部を改正する条例	可決
㊿	ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議	可決

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案

自由民主党										会派民主						公明党				無所属				賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果							
安田	中島	福田	藤縄	齊木	浜崎	西川	浜田	内田	広谷	内田	野坂	島谷	坂野	西村	森	尾崎	浜田	興治	伊藤	福岡	濱辺	澤	銀杏					山川	福浜	由田	市谷			
由毅	規夫	俊史	喜和	正一	晋一	憲雄	一哉	博長	直樹	隆嗣	道明	龍司	経三郎	弥子	雅幹	薫	妙子	英夫	保	裕隆	義孝	紀男	泰利	智帆	隆宏	隆	知子							
議案に対する賛否																																		
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決			
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決			
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決			
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決			
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決			
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	31	3	34	可決
委員長報告に対する賛否																																		
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	31	3	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	8	34	不採択 (措置済)	
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	23	11	34	採択			
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	24	10	34	不採択			
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	23	11	34	不採択 (措置済)				
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	20	14	34	不採択			
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	24	10	34	不採択			
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	24	10	34	不採択			

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「不採択」「研究留保」の区分による。
 ※陳情に（措置済）と記載があるものは、国又は執行部等において措置済みのため願意が概ね実現されており、議会として重ねて措置を講じる必要がないことを理由とするもの。

請願・陳情の詳しい結果はこちらからご覧いただけます⇒



令和4年2月定例会付議案等議決結果

賛否が分かれた議案

議案等番号	件名	委員長報告	自由民主党						
			語堂正範	常田賢二	川部洋	松田正	藤井一博	鹿島功	山口雅志
①	令和4年度鳥取県一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○
⑤	令和4年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○
④⑩	鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○
④③	鳥取県警察手数料条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○
⑤①	財産を無償で譲渡すること（県営住宅集団地）について		○	○	○	○	○	○	○
③	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告							
陳情4年-1 (子育て・人財)	鳥取県高校生等通学費助成制度について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情4年-2 (商工労働)	ゆうちょ銀行業務におけるユニバーサルサービスと利用者の利便性の維持に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情4年-3 (総務)	「とっとり電子申請サービス」の対象項目と、電子申請の活用について	不採択 (措置済)	○	○	○	○	○	○	○
陳情4年-4 (危機管理)	島根原子力発電所2号機の早期再稼働の了解について	採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情4年-5 (商工労働)	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情4年-7 (危機管理)	原発災害時の屋内退避中の支援体制に関する住民への具体的な説明について	不採択 (措置済)	○	○	○	○	○	○	○
陳情4年-8 (総務)	鳥取県におけるパートナーシップ制度の制定について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情4年-9 (総務)	憲法第24条第1項の解釈を明確にするための意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情4年-10 (福祉保健)	国立病院の機能強化を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案

賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

議会中継について

鳥取県議会では、本会議、常任委員会、特別委員会等をインターネットで配信（ライブ・録画）しています！パソコンのほか、スマートフォン・タブレットからもご視聴できます。



委員会等

鳥取県議会委員会等
インターネット映像配信

検索



ライブ中継を見る

「ライブ中継を見る」をクリックすればすぐに中継が見られます。

委員会の日程から選ぶ (録画映像)・録画映像の検索 (録画映像)

過去の委員会の録画映像が見られます。
※会議録をホームページに掲載するまで



本会議

鳥取県議会インターネット中継

検索



「ライブ中継を見る」をクリックすればすぐに中継が見られます。

過去の中継は会議名・議員名・用語から検索できます。



本会議のインターネット中継画面

ケーブルテレビ

県内のケーブルテレビ各局では、本会議中継を、開会(朝10時)から散会まで生放送しています。また、同日の夜に再放送も行っています。

ご加入されている局	放送エリア	チャンネル	再放送
NCN (日本海ケーブルネットワーク)	鳥取市 岩美町 倉吉町 三朝町	112ch	20時～
IPP (鳥取テレトピア)	鳥取市	112ch	20時～
TCC (鳥取中央有線放送)	湯梨浜町 北栄町 琴浦町	121ch	なし
CCO (中海テレビ放送)	米子市 境港市 日吉津村 伯耆町 大南町 日野町 日南町	332ch	19時～

information

県議会からのお知らせ

5月定例会の日程案

期日	日程
5月31日(火)	本会議(開会・提案理由説明)
6月1日(水)	常任委員会
2日(木)	本会議(代表質問)
6日(月)	本会議(一般質問・質疑)
7日(火)	
9日(木)	
10日(金)	
14日(火)	常任委員会
15日(水)	特別委員会
17日(金)	本会議(採決・閉会)
20日(月)	
21日(火)	

※ 日程は変更の可能性があります。
※ 午前10時開始の予定です。

あ と が き

平素より「とっとり県議会だより」に関心を持って頂き感謝申し上げます。新年度を迎え、2カ月が過ぎ忙しい日々が続いていることと考えます。今後も県議会の動向に興味を持って頂けるような広報紙を作成するため、頑張っ参ります。(広報委員G)

発行日/令和4(2022)年6月1日

編集・発行/鳥取県議会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

☎0857-26-7460 FAX0857-26-7461 e-mail: gikaisoumu@pref.tottori.lg.jp

鳥取県議会
ホームページ

